

# F-REDD 2 Newsletter

The Project for Enhancing Sustainable Forest Management in  
Collaboration with REDD+ Programs and REDD+ Funds in Laos  
Feb 2022 - Jan 2027

## ラオス国効果的なREDD+資金活用に向けた持続的森林管理能力強化プロジェクト (F-REDD2)

本プロジェクトはREDD+成果支払いの獲得、および同資金による事業実施を支援しつつ、ラオス森林セクターの今後の優先課題である森林戦略2035の実施体制の強化及びREDD+関連活動のさらなる推進・強化を通じて、ラオスにおける持続的森林管理の能力強化することを目的としています。

## FCPF炭素基金からの成果支払いの実現に向けて、第三者機関による審査が始まりました

F-REDD 2との協力を通じて、ラオスは2022年12月に、森林炭素パートナーシップ基金（Forest Carbon Partnership Facility：FCPF）炭素基金に対して、排出削減プログラム実施の結果である「排出削減モニタリング報告書」を提出しました（注）。このたび2023年5月に、正式に第三者審査機関による審査プロセス（Validation and Verification process）が開始しました。

この審査プロセスは、ラオスが算定し、報告した排出削減量の正確性を厳格に審査するものです。算定方法はIPCCによる温室効果ガスインベントリ算定ガイドラインやREDD+向けのGFOI手法とガイダンスといった国際的な技術標準をベースに、炭素基金が設定する独自の要求事項を満たしていなければなりません。また、使用されているデータと算定結果には十分な透明性が求められ、第三者審査機関が同じ算定を再現できる必要があります。審査の完了まで最短で半年、国によっては1年以上を要しており、決して容易ではない道のりが予想されます。

この審査プロセスに対応するために、森林局はREDD+課や森林インベントリ計画課を中心としたチームを組み、F-REDD 2は全体調整役として、また技術的な中核として支援することになります。JICAは、F-REDD 2の前フェーズであるF-REDD以降、ラオスの排出削減プログラムを構想段階から一貫して支援してきました。その知見をフルに活かして全力で支援を続けます。

（注）FCPFとは、世界銀行が信託を受けて運営するREDD+基金。そのうち炭素基金（Carbon Fund）は世界18ヶ国に対して成果支払い基金を予定している。ラオスに関する情報は[こちら](#)から。



森林面積の分析中  
森林局職員同士の学びあいも進んでいます。



衛星画像を通じた分析結果を現地確認

## ラオス中部、南部における県森林減少モニタリングシステムの推進

F-REDD 2では、衛星画像を活用した県森林減少モニタリングシステム（PDMS）を開発し、森林モニタリングの強化に向けて、モニタリング手法と実施体制の強化を図ってきました。前回のニュースでは、ラオス北部6県にPDMSが展開したことを報告しましたが、その後、世界銀行や世界自然保護基金（WWF）との連携の下、ラオス中部と南部にも拡大し、全国18県のうち10県にPDMSが展開しつつあります。

まず、2023年1月には、ラオス中部のサバナケット県でPDMSの導入研修を実施し、その後、F-REDD 2と世界銀行のLao Landscapes and Livelihoods Projectの各対象郡のモニタリング体制を構築した上で、本格的な導入を開始しました。雨季の終わる10月以降にさらに4県に対して導入研修が予定されています。

続く2023年2月には、WWFのForest Restoration for Resilience and Development (FORRED)と協力

して、ラオス南部のXepien国立公園を管理する国立公園事務所、及びチャンパサック県とアタプー県の県・郡職員を対象としたPDMSの導入研修を行いました。その後のモニタリング活動は両プロジェクトにより実施され、F-REDD 2は技術的なフォローアップを提供しています。

利用者からは、「衛星画像を使って、より正確に森林減少の状況が把握できるようになった」「PDMSは操作が簡単で非常に使い勝手がよい」という前向きな評価が相次いでいますが、利用が進むに連れて、フィールド調査時に入力する質問票の改善提案なども上がってきています。蓄積が進むモニタリングデータを今後どのように活用すれば、違法行為に対する法執行と抑制により有効かも、検討していかなければなりません。これらの課題をカウンターパートと協議しながら、さらにPDMSを拡充し、ラオスの森林保全に向けた法執行の強化につなげていきます。



Xepien国立公園の森林官を対象としたPDMS研修



PDMSにより特定されたXepien国立公園内の森林伐採現場の確認

## Contact

### F-REDD 2/DOF Office

Kouvieng Street, Sisaket Village,  
Chanthabouli District,  
Vientiane Capital, Laos  
Tel & Fax: 021(22)2536

### F-REDD 2/FIPD Office

Phontong Swath Village, House No.  
386, Unit 44, Chanthabouly District,  
Vientiane, Laos



Ministry of Agriculture  
and Forestry



Japan International  
Cooperation Agency



[Website](#)



[Facebook](#)